

コンクリート湿潤養生技術「Wキュアリング®」

透水性型枠を用いたコンクリートの排水・湿潤連続養生技術 コンクリート表層の耐久性向上

調査・設計・計画

橋梁架設

材料

ICT施工

コンクリート施工

プレキャスト

高耐久化・床版更新

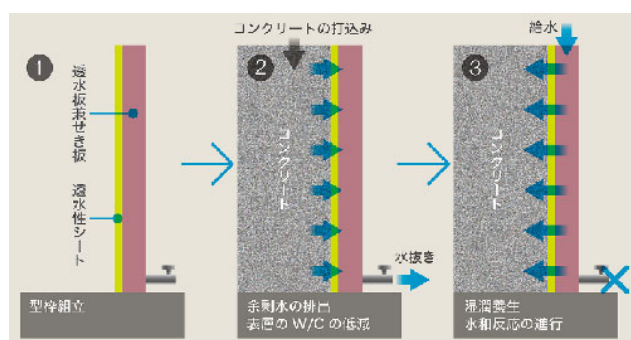
お客様のメリット

- コンクリート表層が緻密化し、耐久性を大きく向上させることができます。
- コンクリート表層に発生しやすい空気泡を抑制することができるため、美観が向上します。
- 合板型枠と同様の組立、施工が可能です。

技術の特徴

コンクリートの排水・湿潤連続養生

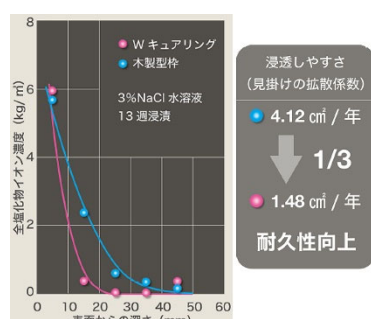
断面内に水を供給することができる有孔透水板をせき板として使用し、コンクリート打込み面側に透水性シートを設置してコンクリートを打ち込みます。これにより、打込み直後は、コンクリートから出る余剰水や表面の気泡を除去することができ、凝結後に透水板へ水を供給することにより脱型せずにコンクリートを湿潤養生することができます。



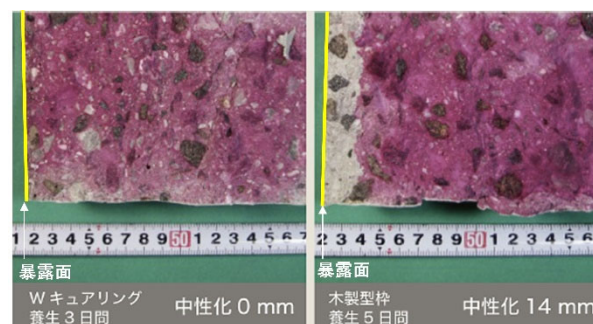
コンクリートの排水・湿潤連続養生の概要

養生の効果

余剰水排水とその後の湿潤養生を連続で行うことを可能としたことにより、コンクリート表層部の細孔組織の緻密化の効果が得られ、水中養生と同等以上の耐久性を確保することができます。加えて、空気泡を抑制することができ、美観が向上します。



コンクリートの排水・湿潤連続養生の概要



中性化の顕著な抑制効果 (促進試験材齢13週)

実績・事例

- ・紀北東道路 中谷川第一高架橋上工工事 (壁高欄部)
- ・東北中央自動車道 長老沢 3 号橋上部工工事 (壁高欄部)


 紀北東道路
中谷川第一高架橋上部工工事 (和歌山県)

 東北中央自動車道
長老沢 3 号橋上部工工事 (福島県)


▲プレスリリースはこちら